

練習問題 14 6桁精算表を作成する(2)

練習問題 9 の解答(解答 14~15頁)をもとに、精算表を完成してください。

精 算 表

摘 要	期 首 B/S		期 中 取 引		期 末 B/S	
	借 方 (資 産)	貸 方 (負債・純資産)	借 方	貸 方	借 方 (資 産)	貸 方 (負債・純資産)
現 金 預 金	100					
事 業 未 収 金	950					
短期運営資金借入金		450				
事 業 未 払 金		130				
職 員 預 り 金		45				
支 払 資 金 計 (差引支払資金)	1,050	625				
		(425)	差引支払資金増加額→	△		()
			資金収支計算書			
			借 方 (支 出)	貸 方 (収 入)		
(基本財産) 土 地 ・ 建 物	2,000					
器 具 及 び 備 品	700		固定資産取得支出			
設備資金借入金		850	元金償還金支出			
基 本 金		2,000				
次 期 繰 越 活 動 増 減 差 額 (期 首)		275				
当 期 活 動 増 減 差 額					差引純資産 増加額 →	
B / S 合 計	3,750	3,750				
					P/L	
					借 方 (費 用)	貸 方 (収 益)
保育事業収益(収入)						
経常経費寄附金 収 益 (収 入)						
職 員 給 料 (支 出)						
給 食 費 (支 出)						
水道光熱費(支出)						
通信運搬費(支出)						
業務委託費(支出)						
支 払 利 息 (支 出)						
収 益 ・ 費 用 (収入・支出)小 計						
当 期 増 減 (収 支) 差 額			△	← 当期資金 収支差額		← 当期活動 増減差額
増 減 等 (収 支) 合 計						

期中取引の「当期支払資金増加額」は、この問題の場合マイナス、つまり「減少」となっています。しかし、本来は「簿記では、マイナスを使わない」のが約束ですから、上の解答欄と貸借を逆にしてプラス記入することが本来の簿記の姿です。しかし、様式を一定にした方が、学習には好都合と考え、このテキストでは、すべての精算表を上のような形式にしています。